

鳳至郡諸岡(舊邑名)のうちに在つて、眞言宗であつた。惣持寺傳に依れば、元亨元年寺主權律師定賢が靈夢を得て、その寺地を瑩山紹瑾に譲り、こゝに初めて惣持寺の基が成つたとある。今惣持寺文書に、元亨元年七月廿二日附で定賢が諸岳寺觀音堂寺領敷地を寄進した狀を存する。また正慶二年三月六日附先師定賢の讓によつて、諸岡寺の院主職に大法師定員を補任した狀に、櫛比庄桑谷田(内か)村内諸岡寺とするものは、諸岡村の寺地を避け渡した後新たに轉じた寺地であらう。諸岡寺は夙に廢して今存せぬ。

**モロカヒコジンジャ** 諸岡比古神社 羽咋郡二所宮に鎮座する。能登名跡志に『二所宮村、湯(福野湯)の此方なり。諸岡比古神社立給ふ。昔大社にて、兩部にて神主社僧あり。社領二千石なりし由。境内廣し。此森茂りて近郷より見えし故、元は森村といひし由。中比城地のこともありしとて馬場等もあり。或時社僧と社人、元朝に神前にて口論仕出し、刃傷に及びて人死すること多く、此時宮退轉す。云々。其時の社僧は二里脇なる徳田村といふに退き、則ち森山とて眞言宗六坊あり。惣名安養寺といふ。』と記する。しかし、式内等舊社記には、『二所宮熊野神社。土田庄二所宮鎮座。祭神伊弉諾伊弉册二尊。故云二所宮。』とあるから、承應の頃には二所宮熊野神社と號したと見え、それを能登名跡志の安永頃に於いて諸岡比古神社としたことは、何の據があつたか知り難い。能登志徴にも、『社地の体裁を見るに、實に古へ大社なりけん、境内の廣大なる古木の生茂れる杯、式内の神社なるべき社景なれど、舊記古文書等の證

すべきものなく、誠に遺憾といふべし。』と論じてゐる。

**モロカヒコジンジャ** 諸岡比古神社 鳳至郡道下に鎮座した。式内等舊社記に『諸岡比古神社。式内一座。櫛比庄道下村鎮座。稱鐵川明神。或云金河宮。近郷百餘村惣社。舊傳云。往古以來羽咋郡境櫛比庄諸岡村鎮座之處、諸嶽山惣持寺創立之際移轉于今社地。諸岡村今云『走出村。』と記されるが、諸岡村を後の走出村のみとするのも誤なるべく、且つこゝに諸岡比古神社と稱する鐵川明神は固より道下に在つたもので、諸岡から移轉したものと恐れぬのみならず、若し移轉して來たものとしても、後の惣持寺附近が古來羽咋郡であつたことはないから、延喜式羽咋郡の諸岡比古神社をそれに當てることはできない。但し上述の諸岡比古神社は、明治十四年石瀨比古神社に合祀された飯河神社のことで、十五年に石瀨比古神社を改稱した諸岡比古神社のあづかる所ではない。

**モンキヨウジ** 聞慶寺 能美郡大杉に在つて、眞宗東派に屬する。  
**モンキヨウジ** 聞敬寺 石川郡上野新に在つて、眞宗東派に屬する。明治十一年八月道場を改めて聞敬坊と公稱し、十三年十一月更に寺號とした。  
**モンジヨウジ** 聞成寺 石川郡富永に在つて、眞宗東派に屬する。  
**モンジヨウジ** 聞成寺 鹿島郡吉田に在つて、眞宗東派に屬する。  
**モンシンジ** 聞信寺 鳳至郡合鹿に在つて、眞宗東派に屬する。  
**モンゼン** 門前 羽咋郡押水北庄に屬する

部落。元祿十四年の郷村名義抄に『此處の山王、往古は社家多、其門前に有之村に付、門前村と唱申由申傳候。』とある。

**モンゼン** 門前 鳳至郡櫛比庄に屬する部落。惣持寺の門前なるが故に名づける。正保の繪圖にも元祿の郷村帳にも寺町と記され、又寺口ともいうた。能登名跡志に『寺口は門前村といひて二百軒許家數あり。惣持寺の門前なり。宿屋・商家・諸職人あり。家並能く、繁昌なる所なり。』と記する。

**モンゼンジ** 聞善寺 金澤塩屋町に在つて、眞宗東派に屬する。初め木ノ新保に居たが、正保二年今の地に轉じたといふ。  
**モンボン** 聞本 ↓バイザンモンボン 梅山聞本。

**モンミヨウジ** 聞名寺 羽咋郡子浦に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年六月寺號の公稱を許された。

# ヤ

**ヤウカイチ** 八日市 江沼郡能美境に屬する部落。  
**ヤウカイチ** 八日市 石川郡押野庄に屬する部落。郷村名義抄に、此の村領の内惣門といふ所から在所までの間に、古へ町作の家があつて、毎月八日に市を立てたから村名が起つたといふ。

**ヤウカイチシンボ** 八日市新保 石川郡横江郷に屬する部落。龜尾記に、柴田勝家の討入つた時、八日市新保の堡主永島備前・相子

三郎左衛門・保古讀岐入道等爰に戦うて死んだとある。  
**ヤウカイチデ** 八日市出 石川郡横江郷に屬する部落。

**ヤウカイチノシンエモン** 八日市の新右衛門 能美郡八日市の人。承應二年正月前田利常より扶持米十石を受け、四年三月持高の内八反二百歩を頂戴して御扶持人十村となつたが、寛文七年職を免ぜられて、子五右衛門後を襲いだ。

**ヤギ** 矢木 石川郡横江郷に屬する部落。  
**ヤギアラヤ** 矢木荒屋 石川郡横江郷に屬する部落。

**ヤキカマヤ** 燒釜屋 能美郡濱の内の小字。  
**ヤキヨウツカヒ** 夜興遣 藩政時代に、士が夜間獵犬を伴ひ、單身深山幽谷に入つて狐狸などを狩ることを夜興遣ひといふた。加賀藩にも大聖寺藩にも行はれて、膽力を練る爲にせられた。

**ヤキヲ** 燒尾 鹿島郡石動山(部落名)に屬する小字。  
**ヤクオウイン** 藥王院 江沼郡山代に在つて眞言宗に屬する。白山記に『白山五院ハ柏野温泉寺極樂寺小野坂大聖寺云々、五院ハ山代庄之内歟。』とある温泉寺が是である。寺記にいふ。神龜二年行基菩薩錫を越路の雲に飛ばして白山に登つた時、初めて此の温泉に浴し、湯地を開きて傍に一字を結び、自ら藥師如來及び日光・月光・十二神將の像を彫刻して永く温泉の守護とし、靈方山藥師寺と號したと。この寺の鎮守に白山社のあるのは、温泉寺が白山寺の末院であつたからであり、従うて舊時は天台宗であつたらう。今寺藏に木造